

令和3年度 総合評価落札方式の取組について

令和 3年 7月28日
北陸整備局 品質確保室

令和3年度 総合評価落札方式の一部改訂 (工事関係および**工事、業務共通**) 目次

1. 新技術活用表彰の創設《工事・業務共通：新規》
2. 海外インフラプロジェクト技術者の評価について《工事・業務共通：新規》
3. 技術提案評価型（S型）における着目点の申請者設定（自由提案）を求めない試行工事
4. 新型コロナウイルス感染症による情勢を踏まえた入札に係る取り組み
5. 「その他工事」における評価について
6. その他留意事項

1. 新技術活用表彰の創設 《新規》

【工事、業務共通】

- 建設現場、委託業務における生産性向上の優れた取組を表彰し、ICTやBIM/CIM等の新技術の活用を推進するため、局長が表彰を行う。（適用開始時期は、令和3年8月頃の表彰以降を予定）
- 原則、前年度に完成した北陸地方整備局発注の工事、委託業務のうち、数件を選定する。
- 但し、効果が確認できるものであれば、施工中のものも可とする。
- 評価対象は、北陸地方整備局（港湾空港関係）発注の工事、業務で表彰を受けたものを対象に加点する。

【令和2年度工事表彰対象者の実施項目例】

次に掲げる事項により有効性、先進性、波及性の観点から斟酌する

- 3次元測量・設計
- ICTの活用
- BIM/CIMの活用
- プレキャスト製品の活用
- 新技術の活用工事書類の簡素化遠隔臨場
- i-Constructionに係る人材育成、講習会の実施
- 上記に掲げるもののほか、生産性向上に関し創意工夫に努め、技術向上の一定の成果が得られたもの

【評価の考え方】

<工事>

優良工事表彰（局長）、i-Construction大賞（大臣）と同一工事による表彰の場合は重複して加算しない。

<業務>

優良業務表彰（局長）と災害対策関係功労者表彰（局長）と新技術活用表彰（局長）は同じ加算点とするが、重複して評価しない。

【インセンティブ対象期間】

期間は他の局長表彰と同様に2年間の予定。

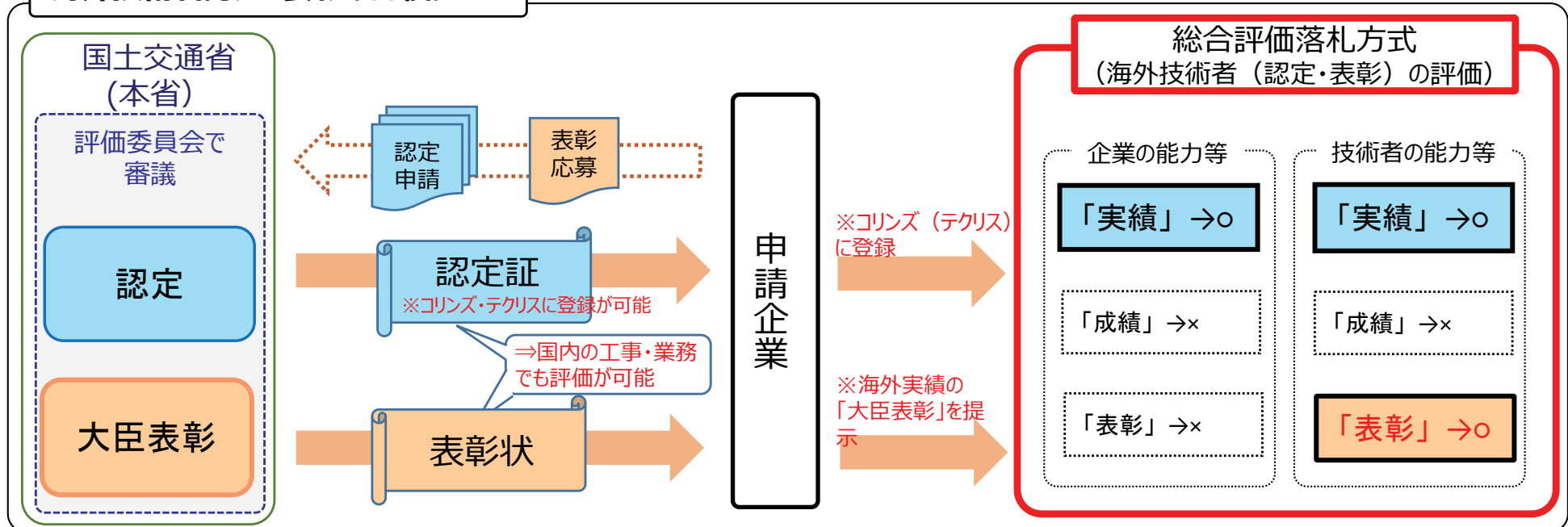
背景

- 建設業の海外進出、技術者の国内外の流動性を高める必要。
- 一方、直轄工事等で実績評価の際に用いるデータベース（コリンズ・テクリス）への登録には、発注者の確認（サイン）が必要であることから海外の実績登録が進んでおらず、当該実績が国内公共工事の調達において評価されない。
- 国内の公共工事において、海外工事等の実績を評価する仕組みが必要。

目的

- 今後の海外進出や国内外の技術者の流動化を促進するため、海外インフラプロジェクトに従事した本邦企業の技術者の実績を認定し、特に優秀な者については表彰する制度を創設するとともに、本認定・表彰の結果を国内工事・業務の入札時に評価する。

海外技術者認定・表彰の評価フロー



※現時点では、テクリス運用に至っていないため、表彰状または受賞通知の写しを添付すること。

2. 海外インフラプロジェクト技術者の評価について《新規》 2 / 3

【工事・業務共通】

(例) 技術提案評価型S型(WTO以外)標準タイプ(総合評価ガイドライン抜粋)

評価項目		評価基準	配点			
企業 の 能 力 等	①過去〇年間の同種工事実績	より同種性の高い工事の実績あり	3点	3点		
		同種性が認められる工事の実績あり	0点			
	②同じ工種区分の〇年間の平均 成績	80点以上	4点	4点		
		75点以上80点未満	2点			
		70点以上75点未満	1点			
	③表彰(同じ工種区分の過去〇 年間の工事を対象(※5))	表彰あり	1点	1点		
		表彰なし	0点			
	④その他自由設定項目	(上限を2点とする)	0~2点	2点		
	総合 評 価	⑤過去〇年間の同 種工事実績	同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理(主任)技術者あるいは現場代理人として従事	4点	4点
				より同種性の高い工事において、担当技術者として従事等、または、同種性が認められる工事において、監理(主任)技術者あるいは現場代理人として従事	2点	
同種性が認められる工事において、担当技術者として従事			0点			
⑥同じ工種区分の〇年間の平均 成績		80点以上	4点	4点		
		75点以上80点未満	2点			
		70点以上75点未満	1点			
		70点未満	0点			
⑦表彰(同じ工種区分の過去〇 年間の工事を対象(※5))		表彰あり	1点	1点		
		表彰なし	0点			
⑧その他自由設定項目		(上限を1点とする)	0~1点	1点		
⑨技術提案	高い効果が期待できる	6点	6点 (×5提案)	30点		
	効果が期待できる	3点				
	一般的事項のみの記載となっている	0点				

①企業の施工実績
海外実績を国内の実績と
同様に評価

※【従前】契約書で確認→【変更】コンリズで確認可能

港湾

(参考)
旧建

○

○

⑤技術者の施工実績
海外実績を国内の実績と
同様に評価

※【従前】契約書で確認→【変更】コンリズで確認可能

○

○

⑥技術者の平均成績
※認定制度では評定点が与えられないこと
から、当面、平均成績への点数付与は行わ
ない。

×

×

⑦技術者の表彰
表彰された海外実績を国内の表彰と
同様に評価(全整備局で評価可能)
(例)
1位評価: 大臣表彰(局長表彰相当)
2位評価: 若手・女性表彰(事務所長表彰)

○

○

2. 海外インフラプロジェクト技術者の評価について《新規》 3 / 3

【工事・業務共通】

- ・「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」制度を令和2年度から創設
- ・初回として、1077 件の認定証を発行するとともに、優れた技術者28名を表彰

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07_hh_000570.html

実績認定件数

	認定数			
	建設会社	建設コンサルタント	その他	
受付企業等数 (申請企業等数)	26者 (27者)	17者 (17者)	2者 (2者)	
認定証対象事業数 (申請事業数)	151事業 (167事業)	212事業 (251事業)	3事業 (3事業)	
認定証対象者数 (申請者数)	575名 (607名)	127名 (129名)	6名 (6名)	
認定証発行件数 (申請件数)	705件 (760件)	362件 (429件)	10件 (10件)	

← 参加実績及び評価対象になる可能性のある工事・業務実績

令和2年度海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞 2020 Minister's Award for Outstanding International Infrastructure Engineer (Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Award)

令和2年度海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣奨励賞 2020 Minister's Encouragement Award for Outstanding International Infrastructure Engineer (Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Award)

番号	氏名	企業名	国/地域名	プロジェクト名
1	相川 秀一	東洋建設 (株)	ミャンマー	ティラワ港コンテナターミナル建設工事
2	岩田 修	西松建設 (株)	香港	セントラルカオール幹線道路新設工事-マンティン立坑工区
3	宇都宮 真理子	日本コンサルタンツ (株)	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業 (MRT南北線フェーズ1) 運営維持管理支援
4	大橋 泰平	佐藤工業 (株)	シンガポール	地下鉄ダウタウン線 (第3期) 936工事 (ハンクーレン駅建設工事)
5	大西 陽子	(株) 大林組	インドネシア	タンジュンプリオウ港アクセス道路建設事業 (II) E2A工区・パッケージ3
6	木之下 一也	東亜建設工業 (株)	ガーナ	セコンディ水産業振興計画
7	坂本 雅信	清水建設 (株)	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・104/105工区
8	鈴木 嗣成	五洋建設 (株)	香港	香港国際空港第三滑走路建設地盤改良工事(第1工区)
9	田部 元太	(株) 大林組	バングラデシュ	カチプール・メグナ・グムティ第2橋建設・既存橋改修事業
10	豊田 高士	八千代エンジニアリング (株)	フィジー	ナンディ川洪水対策策定プロジェクト
11	南條 大助	(株) オリエンタルコンサルタンツグローバル	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・施工監理コンサルタンツ業務
12	野村 泰由	東急建設 (株)	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・101/102工区
13	橋詰 亮	(株) フジタ	香港	香港国際空港西エプロン拡張工事・546工事
14	福原 敦仁	(株) 日本空港コンサルタンツ	フィリピン	新ボホール空港建設及び持続可能型環境保全事業
15	松野 恵司	(株) IHIインフラシステム	ベトナム	ニャットン橋 (日越友好橋) 建設事業 パッケージ1
16	丸二 信彦	三井住友建設 (株)	タンザニア	タザラ交差点改善計画
17	若松 友二	飛鳥建設 (株)	東ティモール	コモ川上流新橋建設計画

番号	氏名	企業名	国/地域名	プロジェクト名
1	赤城 嘉紀	JFEエンジニアリング (株)	ラオス	国道九号線橋梁改修計画
2	梅木 知裕	八千代エンジニアリング (株)	スーダン	統合水資源管理能力強化プロジェクト
3	上床 和輝	新菱冷熱工業 (株)	アラブ首長国連邦	アブダビ首長国アブダビ国際空港拡張に伴う地域冷房プラント-1建設工事
4	岡部 真佳	清水建設 (株)	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・103工区
5	杵築 秀征	西松建設 (株)	香港	地下鉄観塘延伸線1001工事
6	黒田 杏	五洋建設 (株)	シンガポール	センカン総合病院建築工事
7	清水 憲一	飛鳥建設 (株)	パラオ	上水道改善計画
8	高岡 泰弘	日本工営 (株)	ミャンマー	新タケタ橋建設計画
9	滝 直也	(株) IHIインフラシステム	ベトナム	ニャットン橋 (日越友好橋) 建設事業 パッケージ1
10	中田 直樹	東急建設 (株)	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・101/102工区
11	村松 敬悟	東亜建設工業 (株)	ガーナ	セコンディ水産業振興計画

(五十音順・敬称略)

3. 技術提案評価型（S型）における着目点の申請者設定(自由提案)を求めない試行工事

【工事関係】

- 現行において、総合評価落札方式の技術提案にかかる入札参加者（受注者）の負担及び発注者の技術審査事務の負担に対して、双方の負担を軽減し、総合評価落札方式の円滑な実施を行うため、技術提案評価型（S型）において、自由提案を求めない工事を試行的に実施する。

総合評価タイプ	改訂前				改訂後			
	技術提案の指定テーマ数	各テーマ毎の着目点数	満点	配点	技術提案の指定テーマ数	各テーマ毎の着目点数	満点	配点
技術提案評価型 S型(WTO)	2テーマ	3着目点 (内、自由提案1)	50点	25点/テーマ	2テーマ	3着目点 (内、自由提案1)	50点	25点/テーマ
技術提案評価型 S型(非WTO)	【難易度がⅣ以上】 2テーマ	3着目点 (内、自由提案1)	40点	20点/テーマ	【難易度がⅣ以上】 2テーマ	2着目点 (内容により3着目点)	40点	20点/テーマ
	【難易度がⅢ 又は単一工種】 1テーマ	3着目点 (内、自由提案1)	30点	30点/テーマ	【難易度がⅢ 又は単一工種】 1テーマ	2着目点	30点	30点/テーマ
【参考】国土交通省港湾局ガイドライン(H27.3)	<ul style="list-style-type: none"> 技術提案の指定テーマは、工事内容に応じ、1～2テーマを設定する。 指定テーマに対する技術提案は、各テーマ毎に最大3～5つを基本とする。 (提案数を超えた提案内容については評価せず、提案数までの提案内容にて評価する) 							

4. 新型コロナウイルス感染症による情勢を踏まえた入札に係る取り組み

【工事関係】

【CPD評価期間の拡大】

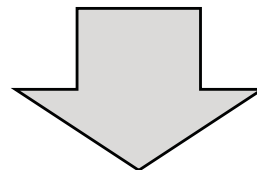
- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、研修プログラムの中止や、研修参加人数の制限等の対策が図られ、加点対象となるCPD「※¹20単位以上」の取得が難しい時期であったことを考慮し、令和3年度は暫定的な措置として、評価対象期間を2年間※²に拡大する。

※¹ 港湾5工種工事の場合。その他工事のCPD単位数については、工事内容に対応する各構成団体が推奨する年間獲得単位数に準拠します。

◇港湾5工種工事における例

【令和2年度】

評価項目	評価内容	評価基準及び配点	
継続教育(CPD)の取り組み状況	令和元年度の継続教育の取得単位が20単位以上に加点する。	取得単位が20単位以上あり	1.0点
		上記以外	0.0点



【令和3年度】

評価項目	評価内容	評価基準及び配点	
継続教育(CPD)の取り組み状況	令和元年度または令和2年度の継続教育の取得単位が20単位以上に加点する。※ ²	取得単位が20単位以上あり	1.0点
		上記以外	0.0点

※² 取得単位は、令和元年度、令和2年度の各年度内において20単位以上の取得を評価対象とし、2ヶ年合計で20単位以上の申請は認めない。

5. 「その他工事」における評価について

【工事関係】

○ 港湾5工種（空港等土木工事、港湾土木工事、港湾等しゅんせつ工事、空港等舗装工事、港湾等鋼構造物工事）を除く、電気、機械、通信、建築等の工事については、申請された工事が北陸地方整備局発注工事であれば書類の確認をもって評価する。

【企業能力評価】

③北陸地方整備局等の表彰						
①同種工事実績 【○○:○○】	②工事成績	工事成績 評価優秀企業 認定 (過去1ヶ年度 の有無)	優良工事 表彰 【○○工事】 (過去2ヶ年度 の有無)	災害対策関 係功労者表 彰 (過去2ヶ年度 の有無)	i- Construction 大賞 (過去2ヶ年度 の有無)	安全管理優 良受注者表 彰 (過去2ヶ年度 の有無)
○○以上 (S):6点 ○未満 (A):3点	80~:8点 78~79:6点 76~77:5点 74~75:4点 72~73:3点 70~71:1点 65~69:0点 ~64:-5点	有:1点 無:0点	局長:2点 所長:1点 無:0点	有:2点 無:0点	有:2点 無:0点	有:1点 無:0点
配点 6点	配点 8点					③計 最大 4点

①申請工事の成績評定
(コピー)を提出

表彰状(コピー)を提出

【技術者能力評価】

配置予定技術者		①同種工事実績 【○○:○○】	①同種工事実績 【立場】	②同種工事成績 (申請工事 全地整) (主任、監理又は代理人) ※担当技術者は対象外	③優良建設技術者表彰 (過去4ヶ年度の有無) 優良工事表彰の従事 (過去2ヶ年度の有無) ※従事は監理又は主任のみ	④CPD取得 (過去1年間対象) ※単位取得値 1.0以上
主任(監理)技術者 又は若手技術者	技術指導者	○○以上 (S):6点 ○未満 (A):3点	主任(監理)技術 者、現場代理人 又は専任補助 者として従事:2 点 担当技術者とし て従事:0点	80~:8点 78~79:6点 76~77:5点 74~75:4点 72~73:3点 70~71:1点 70点未満:0点	発注機関	局長:3点 所長:2点 無:0点
		配点 6点	配点 2点	配点 8点	配点 3点	配点 1点

①申請工事の成績評定
(コピー)を提出

表彰状(コピー)を提出

配置予定技術者の能力
小計
配点
20点

【①連絡事項】

○ ファックス利用の廃止について

これまで契約手続きや評価結果の問合せなどにおいて、FAXを利用して参りました。

この度、国土交通本省からの通達により、テレワークの推進や業務効率化を図る観点において、FAX を利用した業務・手続は、出勤が前提となるため、テレワークの推進を阻害する要因の一つであるほか、オンライン化により一層の効率化を進めるため、FAX利用は原則廃止することとなりました。

なお今後は、各入札説明書や様式等に記載しているメールアドレスを利用頂くこととなります。

【②留意事項】

○ I 型（主にチャレンジ型）での施工計画書の記載内容について

○ 技術提案書、施工計画書の文字の大きさ（ポイント数）について

令和3年度 総合評価落札方式の取り組みについて (業務編) 目次

1. チャレンジ型の試行(新規)
2. 港湾海洋調査士等の評価について(追加)
3. 過年度業務資料のデジタル情報での提示拡大
4. 申請書添付書類の簡素化について(見直し)

【業務】1. チャレンジ型の試行（新規）

- ・担い手確保に資する地域企業の参加が想定される測量・調査等、実績評価の比率を下げることにより、受注機会の拡大を図ることが望ましい案件については、**チャレンジ型の取り組みを試行**する。
- ・チャレンジ型では、地方整備局の成績や表彰実績を持たない企業の新規参入及び受注機会の確保を図るため技術者の**成績・表彰を評価の対象とせず、実施方針に重点を置いた配点**とする。
- ・試行の対象は、測量・調査における簡易型（1：1）を適用する案件において、業務内容を勘案し、数件程度行うこととする。

＜建設コンサルタント業務等の運用ガイドライン 配点イメージ＞

特定・入札段階の配点イメージ

落札方式	特定・入札段階の配点イメージ
プロポーザル方式	
総合評価落札方式	標準型 総合評価方式 1.3
	総合評価方式 1.2
	簡易型 総合評価方式 1.1

【現行の簡易型（1：1）配点比率】



【チャレンジ型の配点比率】



2. 港湾海洋調査士等の評価見直しについて（追加）

- ・業務内容に応じて、港湾海洋調査士等の業務に特化した資格を技術士と同等に評価する。
- ・最高点評価は、「1位資格（技術士等）」+「当該業務に特化した資格」の両方保有している場合とする。
- ・次点評価は、「1位資格（技術士等）」若しくは「当該業務に特化した資格」のどちらかを保有している場合とする。
- ・R3dより「**港湾海洋調査士（総合）**」を追加する。

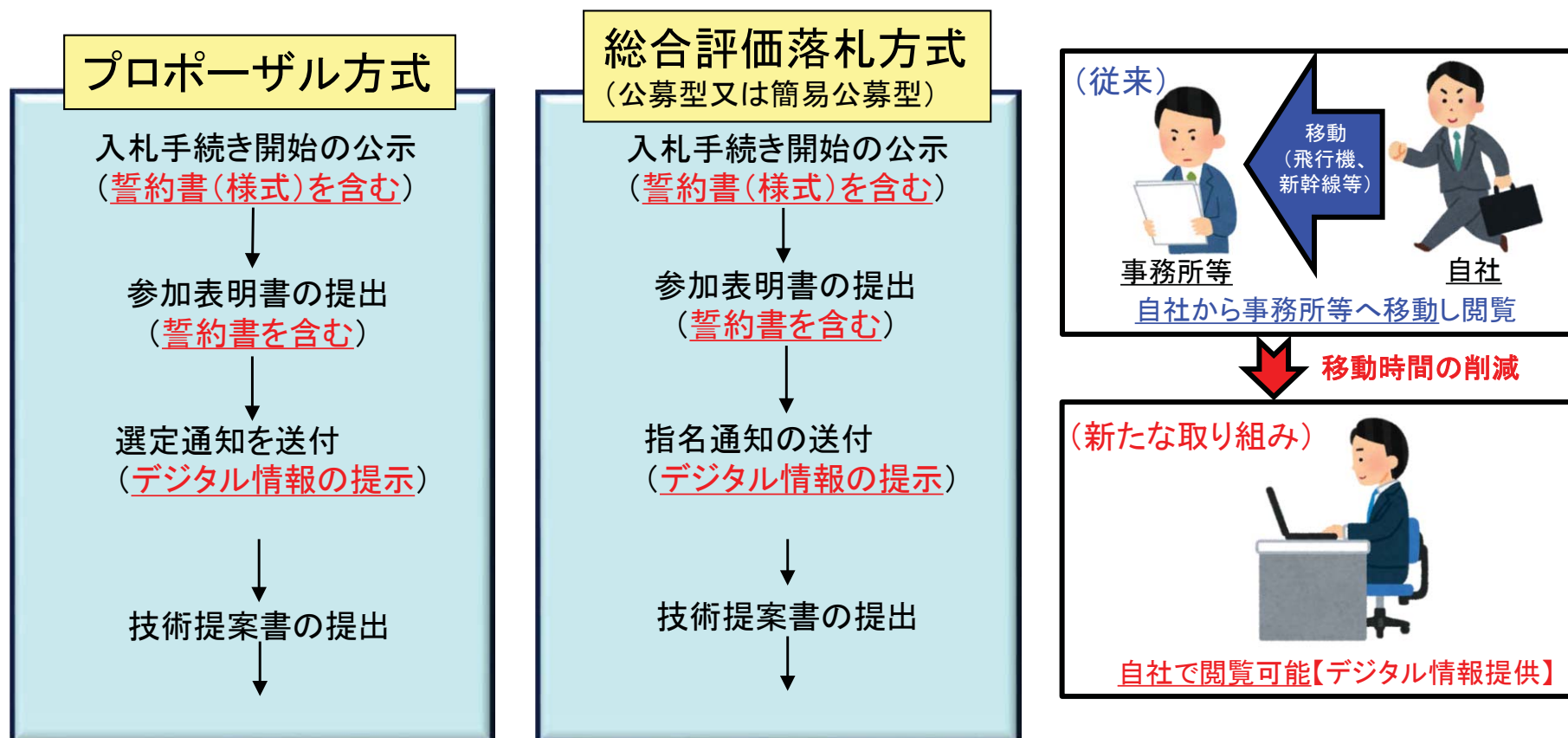
※「当該業務に特化した資格」は、「国土交通省登録技術者資格」のうちから業務内容に応じて設定する。

https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000774.html

特化した資格と業務内容の関係			
	施設分野	業務名	資格名
1	港湾施設	維持管理計画策定業務、 点検・診断、設計	海洋・港湾構造物維持管理士
2	港湾施設	設計及び維持補修設計	海洋・港湾構造物設計士
3	港湾	深淺測量・水路測量	水路測量技術 1級(沿岸) 水路測量技術 1級(港湾)
4	港湾	深淺測量	港湾海洋調査士(深淺測量) 港湾海洋調査士(総合)
5	港湾	磁気探査・潜水探査	港湾海洋調査士(危険物探査) 港湾海洋調査士(総合)
6	港湾	気象・海象調査	港湾海洋調査士(気象・海象調査) 港湾海洋調査士(総合)
7	港湾	地質・土質調査	港湾海洋調査士(土質・地質調査) 港湾海洋調査士(総合)
8	港湾	海洋環境調査	港湾海洋調査士(環境調査) 港湾海洋調査士(総合)

- ・入札手続き作業の負担軽減及び効率化を図るため、過年度の関連業務資料をデジタル情報で提示する。
- ・R2dは、プロポーザル方式及び総合評価落札方式の公募型又は簡易公募型を対象とし、入札手続き開始の公示時に参加表明書申請の様式に含めて誓約書（様式）を配布し、参加表明書提出の際に各様式と併せて提出して頂き、選定者又は指名者に限定してデジタル情報の提供リンク先をメール等で連絡する。
- ・デジタル情報については、印刷不可にするとともにパスワードを設定するものとする。
- ・**R3d**からは、総合評価落札方式の一般競争入札においても試行的に拡大を図る。

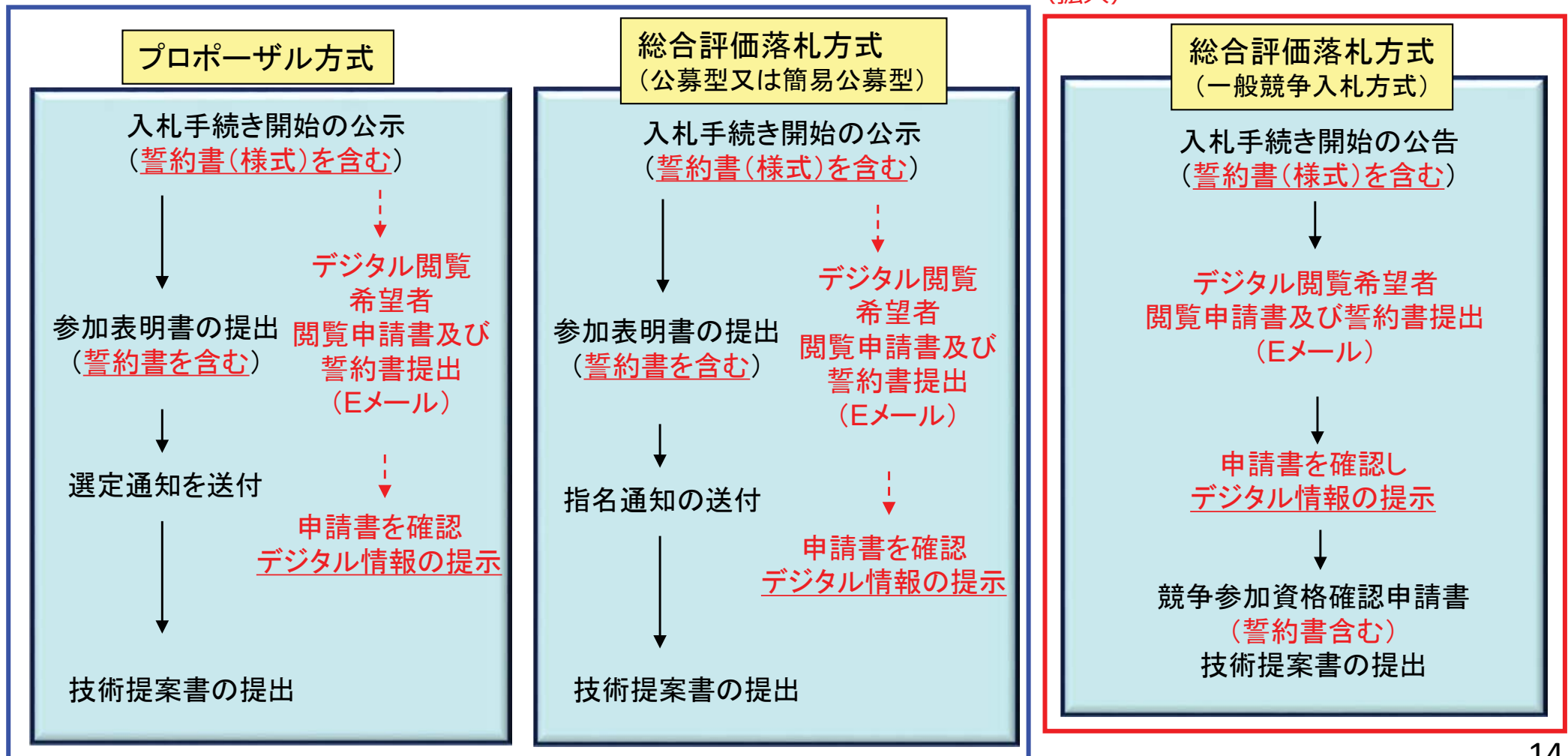
【R2d手続きイメージ】



- 公告～競争参加資格確認申請書の提出期限までの間に「デジタル資料による閲覧申請書」及び「誓約書」を電子メール(入札公告に記載の)で提出。
- 申請書で確認できる範囲(業種区分、等級、成績、実績があるか(シミュレーションにあるか))を審査担当がチェックし、OKであれば、デジタル提示。
- 一般競争入札への拡大に伴い、プロポーザル方式及び総合評価落札方式の公募型又は簡易公募型も見直す。
- 提示方法は次頁のとおり。

(見直し)

(拡大)



(様式-〇)

デジタル資料による閲覧申請書

令和 年 月 日

支出負担行為担当官
北陸地方整備局次長 ○〇 ○〇 殿

閲覧者) 住所
電話番号
F A X
会社名 ○〇建設コンサルタント(株)
代表者 役職名 氏名

担当者) 担当部署
氏名
F A X
メールアドレス

令和〇年〇月〇日付けで公告のありました〇〇港〇〇業務に係る既存資料の閲覧について、デジタル資料による閲覧を希望しますので、誓約書を添えて申請します。
なお、当該業務の入札参加者に要求される資格を有する者であることを誓約します。

(様式〇)

誓 約 書

令和〇年〇月〇〇日

支出負担行為担当官
〇〇長〇〇 ○〇 殿

閲覧者) 住所〇〇〇〇〇
電話番号〇〇〇
会社名〇〇〇〇
代表者名〇〇〇
業者コード*〇〇〇
担当者) 担当部署〇〇〇
氏名〇〇〇〇〇
電話番号〇〇〇
E-mail〇〇〇〇〇

令和〇年〇月〇〇日付けで公告(公示)のあった令和〇年度〇〇〇〇業務に係る技術提案書の作成のための既存資料の閲覧にあたっては、下記の事項を遵守することとし、誓約に反した場合において、弊社が指名停止等の措置を被ることになっても異議を申し立てないことを誓約いたします。

記

1. 閲覧者は、既存資料の閲覧内容を技術提案書作成に係わる関係者以外には秘密とし、また、本業務の技術提案書作成以外の目的に使用しない。
2. 閲覧者は、既存資料の閲覧内容を第三者に漏らさない。
3. 既存資料の閲覧内容は、アクセス制限、パスワード管理等により適切に管理するとともに、本業務の技術提案書作成のみに使用し、他の目的には使用しない。また、発注者の許可なく複製・転送等しない。
4. 閲覧者は、本業務の技術提案書作成後に、既存資料の閲覧内容について、消去又は破壊を確実にを行う。
5. 既存資料の閲覧内容について、報道等での指摘も含め、漏洩等の事故や恐れが判明した場合については、本業務の技術提案書作成中・作成後を問わず、事実関係等について直ちに発注者へ報告する。なお、発注者が行う報告徴収や調査に必ず応じる。

※) 資格決定通知書(港湾空港関係)に記載されている業者コード

※なお、閲覧のために事前提出した場合でも、申請書提出期限までに電子入札システムにおいても正式に提出すること。

【業務】4. 申請書添付書類の簡素化について(見直し)

・競争参加資格確認申請時において、一部の発注方式においては、添付書類の簡素化を実施しているところであるが、全ての発注方式において添付書類の簡素化を図ることとする。

- ①業務実績情報システム(TECRIS)により業務実績が確認できる場合は、登録内容や契約書の写しの添付不要。
但し、登録されていても、登録実績データにおいて要件が確認できない場合は、契約書及び特記仕様書等の資料を添付すること。
- ②地方整備局(港湾空港関係)発注の業務で請負業務成績表評定点を得ているものは、業務成績表の添付不要。
- ③優良表彰等の実績における、表彰状の添付不要

＜総合評価落札方式の見直し例＞

総合評価落札方式(簡易型) 入札説明書

北陸地方整備局〇〇〇事務所の〇〇〇〇〇〇業務に係る入札公告(建築のためのサービスその他の技術的サービス(建設工事を除く))に基づく一般競争入札等については、関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

※本業務は、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式の業務である。

- 1. 公告日
- ・
- 6. 競争参加資格確認申請書の提出等
- ・

記載事項	内容に関する留意事項
企業の業務実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 記載する業務が、地方整備局(港湾空港関係)発注の業務で請負業務成績表評定の評定点を得ているものについては、業務成績表を証明できる資料を添付する。 ・
配置予定管理技術者の同種又は類似業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 記載する業務が、地方整備局(港湾空港関係)発注の業務で請負業務成績評定の評定点を得ているものについては、業務成績表を証明できる資料を添付する。 ・

3) 関連資料

- ① 業務の実績として記載した業務に係る契約書の写しを提出すること。ただし、当該業務が、一般財団法人日本建設情報総合センターの「業務実績情報システム(TECRIS)」に登録されている場合は、~~その出力データを証明資料として添付すれば、契約書の写しを提出する必要はない。~~
- ② 配置予定管理技術者の資格者証の写し等
 - i) 配置予定管理技術者の有する資格の資格者証の写しを添付すること。
 - ii) 同種又は類似業務に従事したことが確認できる資料を添付すること。~~ただし、当該業務が、一般財団法人日本建設情報総合センターの「業務実績情報システム(TECRIS)」に登録されている場合は、資料を添付する必要はない。~~

(様式-3)

・ 予定技術者の経歴等

ふりがな	
①氏名	②生年月日
③所属・役職	
④保有資格 技術士 (部門: 選択科目:) 登録番号: 取得年月日:	
博士 (分野:) 登録番号: 修了年月日:	
APECエンジニア (分野:) 登録番号: 取得年月日:	
・	
・	

注3) 保有資格を確認できる資料(登録証の写し等)を添付すること。

~~注4) ⑦で表彰の記載をした場合は、表彰状の写を添付すること。~~